

分類	物流での利用で想定される論点	目視外飛行(多地点間) 青字・下線 目視外飛行(災害時等) 緑字・下線 第三者上空飛行 赤字・下線
離陸時	<ul style="list-style-type: none"> ・荷物の搭載状況の確認(過積載、積載方法) ・荷物の落下防止対策(第三者及び物件への危害軽減) ・離陸地点(第三者が存在している可能性がある)の安全確保 ・多地点間(物流拠点間等)の空域の安全確保 ・離陸時の安全確保(気象状況・の確認) ・運航管理による飛行経路の特定と離陸調整 	
飛行中	<ul style="list-style-type: none"> ・荷物の落下防止対策(第三者及び物件への危害軽減、落下しても位置把握が可能) ・荷物の状態把握 ・着陸や荷物取卸し地点の把握 ・2地点間(物流拠点間等)の空域の情報把握 ・災害対策用・救急医療用ヘリコプター等との衝突回避 	
着陸・荷物取卸し時	<ul style="list-style-type: none"> ・荷物の落下防止対策(第三者及び物件への危害軽減) ・着陸や荷物取卸し地点(第三者が存在している可能性がある)の安全確保 ・着陸や荷物取卸し時の安全確保(着陸精度、ウィンチによる荷物取卸し時のホバリング性能、空中投下の精度等) ・荷物の安全で確実な受け渡し(盗難防止) ・他の機体や荷物による着陸地点の占有で生じる待機 ・プライバシーの保護 ・吊り降ろしによる荷物の取卸し時に、機体の下に人が立ち入ることの是非 ・運航管理による着陸調整 	
常時	<ul style="list-style-type: none"> ・機体の輸送基準 ・荷物の輸送手段の規格化(有人機等と衝突した場合に有人機等を墜落させないための荷姿) ・荷物搭載時と非搭載時の重量変化対策 ・荷物輸送中の事故発生に対する物流事業者の免責事由 ・物流事業者の荷物に対する保険手配の要否 ・荷物落下時等の事故原因の調査や責任主体の特定方法 ・事故発生時における、荷主に対する物流業者の賠償責任の範囲 ・飛行時間帯の制限や騒音対策 ・物流事業者としての要求事項 ・ドローンの飛行経路周辺的环境対策 ・離着陸地点の 	

※ 専用の離着陸場所(物流拠点等)の間の輸送を想定